

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	3・16	担当部課名称	建設部道路管理課
事務事業名	狭あい道路整備事業・道路の管理		
見直しのタイトル	道路施設安全点検業務委託（提案型民間活用制度）		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

狭あい申請を受理後、事務手続きを終え、舗装を行うまで1～2年程度時間を要している。
また、道路の管理における現業職員による道路パトロールについて、補修作業用トラックで4m未満の狭あい道路を点検することが困難な状況である。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】

舗装までの期間を短縮することにより、安心安全なまちづくりを実現する。
また、4m以上の道路から狭あい申請地へ至る道路の路線毎に、道路施設安全点検を行うことにより、効率的な道路の管理を行っていく。

【具体的内容】

- ・狭あい申請地が舗装し得る状況になった時点で、地権者より起工承諾を受け、順次施工していく。
- ・ドライブレコーダーにより、道路の状況を記録し、舗装状況、道路反射鏡や車止めポールなどの破損箇所を報告させる。
- ・報告を受けた内容について、処理する。
- ・点検を行った路線については、現業職員のパトロール箇所からは省くように指示する。

3 改善により期待できる効果

「狭あい道路整備事業」においては、未舗装の土地を、約6か月以内に舗装完了することにより、円滑な交通を実現し、事故を未然に防ぐこと。
「道路の管理」においては、舗装のはがれや亀裂、道路施設の損傷箇所を早期に発見し、維持補修することで事故を未然に防ぐこと。
市民からの苦情要望件数の減少、また苦情要望に係る職員の対応時間の減少
職員パトロールに係る時間の減少

4 実施スケジュール（概要）

4～5月 舗装業者の決定
5月以降随時 舗装箇所選定・施工
通年 委託業者と点検・報告方法について協議し、課内で職員の調整

5 実施結果の振り返り

狭あい申請地へ至る道路の路線約460路線について、道路施設安全点検を行うことにより、舗装状況や道路反射鏡や車止めポールなどの破損個所が30箇所報告があり、速やかに穴埋め等対応を行った結果、事故を未然に防ぎ、効率的に道路の管理を行うことができた。